



Japan Arts Foundation

公益財団法人 日本文化藝術財団

平成 27 年度 『日本文化藝術奨学金』 応募要項

応募期間：平成 27 年 11 月 1 日（日）～11 月 11 日（水）

■趣旨

公益財団法人日本文化藝術財団は、日本の伝統文化および現代芸術の保護、育成及び振興を図るとともに、日本の文化・芸術の普及向上にこれまで貢献してまいりました。その取組みの一つとして、育英事業を実施しており、芸術系大学に就学する学生に対し「日本文化藝術奨学金」「加藤定奨学金」の 2 種の奨学金給付を行っています。この「日本文化藝術奨学金」では平成 26 年度より対象を大学院生のみとし、より優れた技量・才能・将来性を評価し支援しています。

※学部生については経済的支援を目的とする「加藤定奨学金」があります。

真摯に芸術に取り組み、将来の日本の文化・芸術の担い手となるであろう学生からの、積極的な応募を期待しています。

■選考方法

応募用紙、推薦書、活動実績を示す資料を基に、選考委員会において審査し、理事会にて決定します。

■選考委員

木村 博昭	建築家／京都工芸繊維大学教授
寺脇 研	映画・落語評論家／(特非) ジャパン・フィルムコミッション理事長
成田 宏紀	(社)国際芸術文化振興会理事兼事務局長
原 高史	現代美術家／東北芸術工科大学准教授
藤本 由紀夫	現代芸術家／京都造形芸術大学教授

(敬称略 五十音順)

□専門委員 ※今年度選考委員の専門外の分野からの応募の場合、専門委員に意見を求めることがあります。

尼崎 博正	農学博士／京都造形芸術大学教授
葛西 聖司	アナウンサー／古典芸能解説者
柏木 博	デザイン評論家／武蔵野美術大学教授
金澤 毅	美術評論家／成安造形大学名誉教授
金子 賢治	茨城県陶芸美術館館長
川村 悦子	洋画家／京都造形芸術大学教授
菅野 由弘	作曲家／早稲田大学教授
新谷 尚紀	社会学博士／国立歴史民俗博物館名誉教授
建畠 哲	美術評論家／京都市立芸術大学学長
丹下 憲孝	建築家／丹下都市建築設計代表取締役社長
中村 真規	演芸プロデューサー／大有企画社長
中山 ダイスケ	東北芸術工科大学教授／株式会社ダイコン代表取締役
根岸 吉太郎	映画監督／東北芸術工科大学学長
坂 茂	建築家／坂茂建築設計代表
古山 正雄	国立大学法人京都工芸繊維大学学長
宮島 達男	現代美術家／京都造形芸術大学・東北芸術工科大学副学長
村山 明	重要無形文化財（木工芸）保持者／日本工芸会理事
茂手木 潔子	日本音楽研究科／聖徳大学教授
渡邊 守章	演出家／演劇企画『空中庭園』主宰

(敬称略 五十音順)

■募集人数と奨学金

6 名 奨学金 50 万円／1 年間（平成 28 年 4 月、9 月の 2 回にわけて給付）

■対象

次の条件を充たし、文化・芸術の分野で将来にわたり活動が期待され、才能・可能性が認められる者

1. 国内の芸術系大学の大学院に就学しており、かつ次年度在籍予定者であること
2. 学業成績、生活態度共に優秀で、健康な学生であること

※ 対象の大学は、国内の芸術系の大学・大学院で実技部門を設けている大学とする。

ただし、音楽部門は除く。

※ 当奨学金は他の奨学金との重複受給をみとめます。ただし、現在受給または申請中の他の奨学金で重複受給をみとめていない場合は、受給することができます。

■報告義務

奨学金の使途については一切問いません。

卒業時に報告書を提出していただきます。

■応募受付期間

平成27年11月1日（日）～ 平成27年11月11日（水）【当日消印有効】

■応募方法

規定の出願用紙①～⑤に必要事項を記入し、資料を作成のうえ、指定された添付書類とともに郵送または宅配便にて提出してください。提出先は募集要項の最後に記載しております。

※ 応募書類は日本語で作成してください。

※ 送付用の封筒または送り状に「奨学金願書在中」とご記入ください。

※ 提出書類に不備があった場合は、選考対象外となります。

<提出書類>

☐ 出願用紙① 奨学金願書

すべての項目について記入してください。

[活動実績]欄には作品発表、研究発表、受賞歴等を時系列で記入してください。

☐ 出願用紙② 出願理由・計画書

出願理由および本奨学金受給後にどのような活動を計画しているか（制作・研究・発表など）具体的に記入してください。

☐ 出願用紙③ 制作・研究資料

制作系の場合は作品または作品発表時の様子がわかる写真（1～2点）および詳細（サイズ・素材・制作年月・コンセプト）、研究系の場合は論文（800字程度にまとめたもの）等、制作活動・研究活動がわかる資料を用意してください。

資料は必ず枠内に貼付してください。複数枚を重ねて貼付、枠外にはみ出して貼付されている場合は、無効となります。

☐ 出願用紙④ 推薦書

在学中の学校の研究科専任担当教員に記入（自筆で署名・押印）を依頼してください。

☐ 出願用紙⑤ 活動資料表紙

用紙に記載のとおり資料を作成してください。提出できる資料は資料の種類に関わらず3点までとなります。（例）ポートフォリオ2点＋論文1点＝3点

出願用紙⑤で作成した資料は返却します。 ※送料は当財団で負担します

ただし受給決定者の提出資料は、当財団資料として提供していただきます。

<添付書類>

☐ 在学証明書

在学中の学校の学長の発行するもの

☐ 成績証明書

在学中の学校の最新のもの

応募書類は日本文化藝術財団ウェブサイトよりご請求ください。
書式のダウンロードに必要な URL、郵送での書類請求についてご案内します。
<http://jp-artsfdn.org/scholarship/jpartsfdn/>
ダウンロードが出来ない場合、または郵送をご希望の場合は、
メールまたは FAX・電話での資料請求も受け付けます。

■結果発表

平成 28 年 2 月下旬予定。

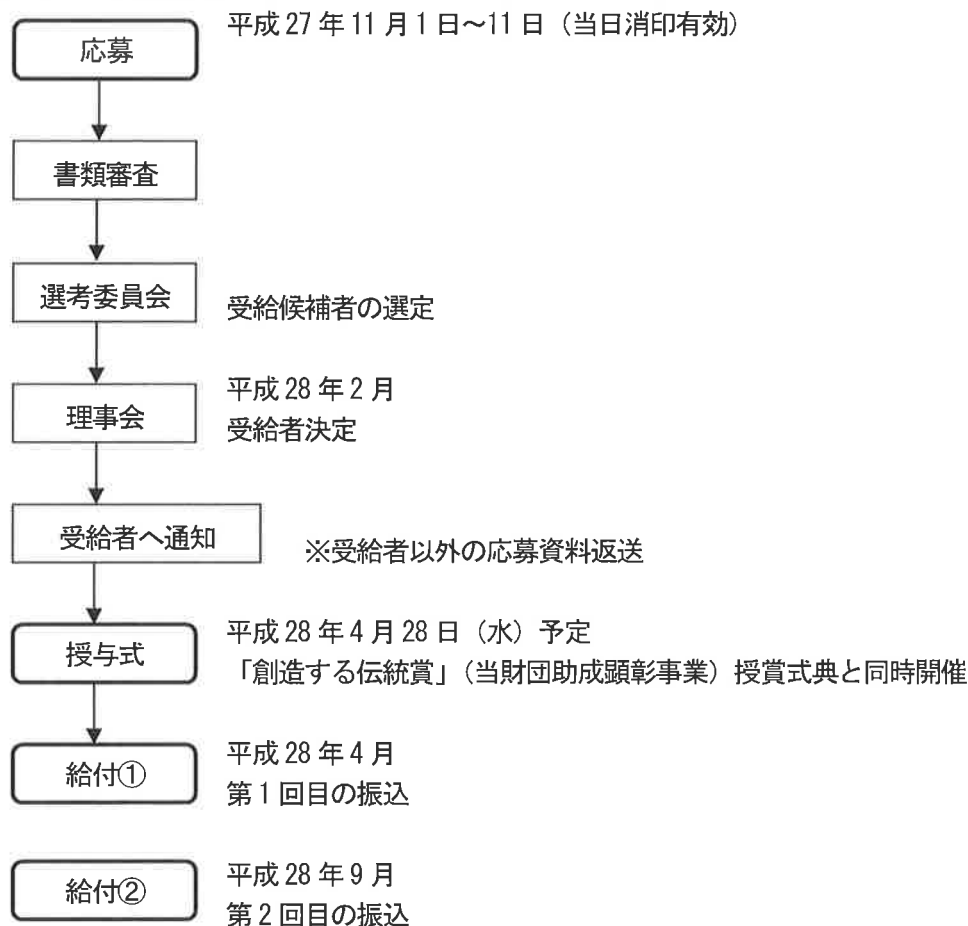
選考結果は応募者本人に対して文書で通知します。(在学・推薦教官への通知はしません)

選考結果の理由に対するお問合せには応じかねますのでご了承ください。

■個人情報について

当財団は、本育英事業の応募により取得した個人情報を、奨学生選考の目的で利用し、この目的に必要な範囲を超えて利用せず、また当財団の委員および役員以外の第三者に提供いたしません。

■応募から給付までの流れ



■提出／問合わせ先

公益財団法人 日本文化藝術財団

〒160-0012 東京都新宿区南元町 13-7 (TEL) 03-5269-0037 (FAX) 03-5363-4837
(URL) <http://jp-artsfdn.org/> (Mail) jimukyoku@jp-artsfdn.org

